



特設コーナー紹介



◆入園・卒園
そして もうすぐ一年生
(1A)



◆新生活応援 BOOK
(特設 1)

【その他新規特設コーナー】

◆tupera tupera の絵本 (1A)
◆追悼 大江健三郎さん
(特設 5) も展示中

コラボ特設コーナー紹介

市役所など各課との新規コラボコーナー

- ◆ノサリバ vol.20【AKJ1000】の失敗から学んだ地域活動
(政策企画課) (25 番棚)
- ◆健康ポイント事業
(健康増進課) (特設 2)
- ◆第 9 回天草まちゼミ
(産業政策課) (特設 3)
- ◆3 月はダウン症啓発月間です
(福祉課) (特設 3)

■新着本紹介■

新刊の一部をご紹介します



一般書



『覇王の轍』
相場英雄
(小学館)



『いますぐ食べたい！
冷凍食品の本』
西川剛史
(自由国民社)



『スマホ失明』
川本晃司
(かんき出版)

- 『長崎と天草の潜伏キリシタン』安高啓明(編)(雄山閣)
- 『対話力』阿川佐和子(SBクリエイティブ)
- 『ミニマル料理』稲田俊輔(柴田書店)
- 『深掘り野菜づくり読本』白木己歳(農山漁村文化協会)
- 『90秒あご筋ほぐし』薩摩宗治(世界文化ブックス)
- 『ものがわかるということ』養老孟司(祥伝社)
- 『猿の掃除屋』風森章羽(講談社)
- 『湯道』小山薫堂(原作)(幻冬舎)

児童書・絵本



『いちねんせいえほん』
高濱正伸(監修)
(日本図書センター)



『こどもお金ルール』
高濱正伸
(カンゼン)



『どこでもタクシー』
鈴木まもる
(文溪堂)

- 『ためして！ウラ技大全』
わくわく生活ラボ(編)(えほんの社)
- 『世界一おおきいのりもの図鑑』(講談社)
- 『ふしぎいっぱい！学校の木』高柳芳恵(偕成社)
- 『あした、弁当を作る。』ひこ・田中(講談社)
- 『かまどろぼう』桂文我(文)(BL出版)
- 『よるのどうぶつえん』おかだこう(作)(フレーベル館)
- 『ナマケモノヨガ』新井洋行(作)(ポプラ社)

■中央図書館カレンダー■

※市内の新型コロナウイルスの感染状況によって、おはなし会などのイベントは中止する場合があります

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

- は休館日
- ◇しあわせおはなし会 10:30~
- おはなし会 14:00~
- 古文書学習会 14:00~
- △みずのわ読書会 10:00~

【開館時間】火~金曜9時~19時 土・日、祝日9時~17時

問合せ先 天草市立中央図書館
TEL: (0969) 23-7001

「tupera tupera 絵本ライブ-大人も子どもも絵本を楽しもう-」を開催します

【講師】tupera tupera (ツペラツペラ) 亀山達矢さん

【日時】4月23日(日) 13:30~(15時終了予定。イベント終了後に絵本販売・サイン会を行います)

【場所】天草市民センター 展示ホール 【対象】どなたでも

【定員】200人(先着順) 4月1日(土) 受付開始(定員になり次第締め切ります)

【申込】各図書館カウンター・電話・電子申請

【問合せ】中央(0969)23-7001 牛深74-7100 御所浦67-3931 河浦74-8111



◆市外に引っ越しする人は

本と貸出カードの返却をお願いします

図書館の本を借りている人で、市外に引っ越しする時は、事前に本と貸出カードを返却してください。返却が済んだか心配な方は、カウンターまたはお電話でお尋ねください。また、市内の引越しでも変更手続きが必要です。各図書館を利用する際に職員へお申し出ください。



◆移動図書館車の利用グループを募集します



市立図書館では移動図書館による巡回貸出を希望するグループを募集します。

【対象】市内に在住、または通勤する人が5人以上で作るグループ。企業の利用や施設への巡回も可。

【巡回日】火~金曜日(祝日を除く) 時間は要相談

【申込方法】図書館窓口へ直接申し込んでください。

◆絵本作家 きむらゆういちさん講演会

ご自身の絵本の読み聞かせや、アイデアについてのお話、参加者みんなで工作を楽しみました。大人も子どもも盛り上がり、参加者からは「絵本の世界に引き込まれて楽しかったです」「息子と一緒にわくわくしました」などの声が寄せられました。



◆おはなし小道具講座

読み聞かせの合間に使える小道具を折り紙や牛乳パックで作り、実際に参加者も動かしてみました。参加者からは「身近なもので作り出せること」「工夫しだいで何でも小道具として使える」と大好評、参加者のアイデアからうまれた演出もあり、楽しい講座となりました。



◆わらべきみかさん、中央図書館へ本を寄贈

天草出身の絵本作家、わらべきみかさんからご自身の絵本を寄贈いただきました。児童エリア1Eの作者別シリーズの書架に置いています。かわいいイラストの絵本ばかりです!



第44回熊日出版文化賞決定

👑『アルメイダ神父とその時代』玉木讓(弦書房)

👑『アイラヴ漱石先生』くまもと漱石文化振興会(編)(集広舎)

👑『熊本地震の痕跡からの学び』熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター減災型社会システム部門(編)(熊日出版)

[ジャーナリズム賞]

『検証・免田事件[資料集]』免田事件資料保存委員会(編)(現代人文社)

『生き直す 免田栄という軌跡』高峰武(弦書房)

[マイブック賞]

『俳壇坂本の会』小室日和(他著)(文學の森)

第64回熊日文学賞決定

👑『プロッコリー・レボリューション』岡田利規(新潮社)

中央図書館の思い出を教えてください

利用者からいただいたメッセージをご紹介します

子どもの頃はあまり本を読まなかったけど、高校生になって自分の行動範囲が広くなり、初めて図書館の存在を知った。初めは大人の本を読んで、その次に児童書(児童文学)をたくさん読むように。今は児童文学作家を目指しています。広い世界を教えてくれた中央図書館に感謝。



先日友人から庭先の花の写真が何枚も送られてきました。3月14日国内で一番早い桜の開花、東京は過去最速とのこと。暖かくはなりませんが、それでも早朝の冷え込みなど気温の変化に私の身体は上手についていきません。「気持ちが若く、色々なことを続けている人は、長い間若くいられる」と、和田秀樹さんの本『70歳が老化の分かれ道』に書いてありますが、気持ちは若いままでも、放置した身体は相応に低下していくことを、季節を通して感じています。体力強化にも適した季節、まずは花を見ながらの散歩から始めることにしましょう。

今年の中学高校の卒業生はコロナ禍で3年間を過ごしました。歌手の長渕剛さんが母校の卒業式にサプライズゲストで登場「つらかったね 3年間、何で仲間と一緒に大笑い出来ないんだろう・神様は僕たちにすごい試練を与えてくれたかもしれない。同じ苦しみや悲しみや痛みを共有している仲間だからこの絆は絶対に切れたりしない」といい「乾杯」の歌でエールを送られていました。その言葉と歌詞は卒業生だけでなく聞いている多くの人の心にも届く忘れられないものになりました。

長田弘著『読書からはじまる』には「人間は言葉のなかに生まれてきて、言葉によって育てゆくものだ...言葉のゆたかさとは、どういう自分であるかを語るができる」「本を読むことが読書なのではありません。自分の心のなかに失いたくない言葉の蓄え場所をつくりだすのが、読書です」として「本はもう一人の友人」とあります。池澤春菜さんは「全てのページに、一生を通じて、折に触れ思い返し、噛みしめるような、宝物のような言葉が溢れています。」と解説に書かれています。たしかにこの本は読みかえす度に新たに進むための力とさりげない安心感を届けてくれる私の友人のようなものです。

これから新しいステージに歩き出す皆さんに、これから多くの楽しい出会いがありますように、いろんな場面で本が寄り添ってくれますように「たくさんの幸あれ」と願います。

【文・中央図書館長】